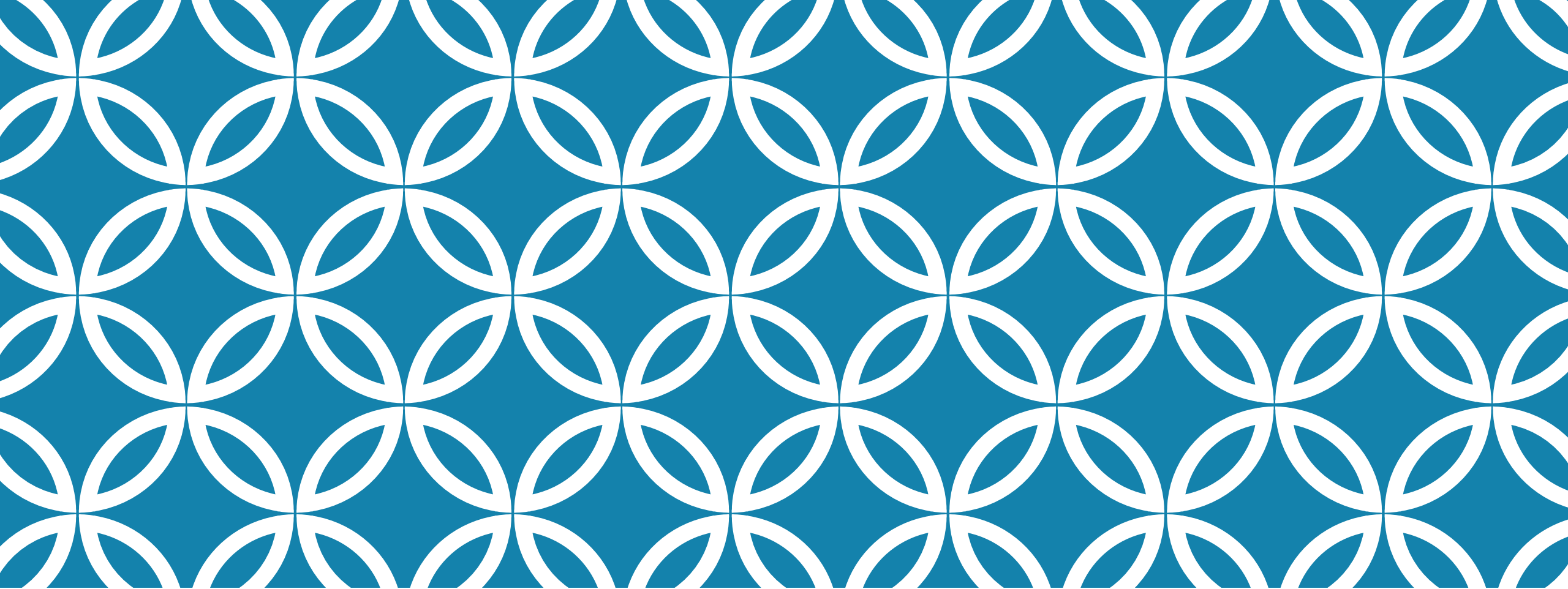




# 「働き続けられる保育職場」 に関するアンケートの調査結果

2021.11.28  
大阪青山大学 黒澤祐介

調査対象

大阪府下の3保育所 74名からの回答

実施時期

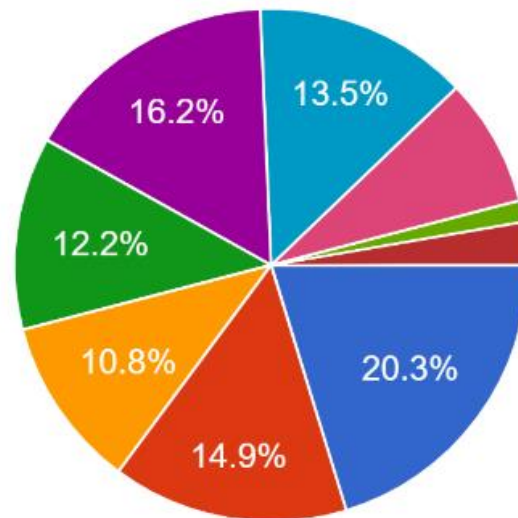
2021年9月

方法

Webアンケート（googleフォーム）

## Q2. あなたの年齢を教えてください

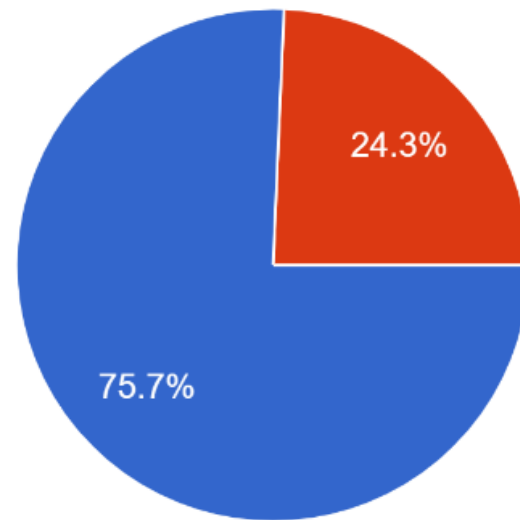
74 件の回答



- 1. 25歳以下
- 2. 26歳～30歳
- 3. 31歳～35歳
- 4. 36歳～40歳
- 5. 41歳～45歳
- 6. 46歳～50歳
- 7. 51歳～55歳
- 8. 56歳～60歳
- 9. 61歳以上

#### Q4. あなたの現在の雇用形態を教えてください

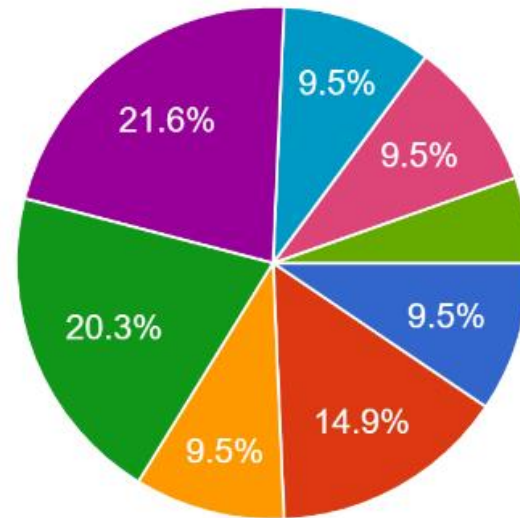
74 件の回答



- 1. 正規雇用
- 2. 非正規雇用（派遣を含む）

Q6. あなたの現在の園での勤務歴は何年ですか？

74 件の回答



- 1. 1年未満
- 2. 1年以上～2年未満
- 3. 2年以上～3年未満
- 4. 3年以上～5年未満
- 5. 5年以上～10年未満
- 6. 10年以上～15年未満
- 7. 15年以上～20年未満
- 8. 20年以上

# 回答者について

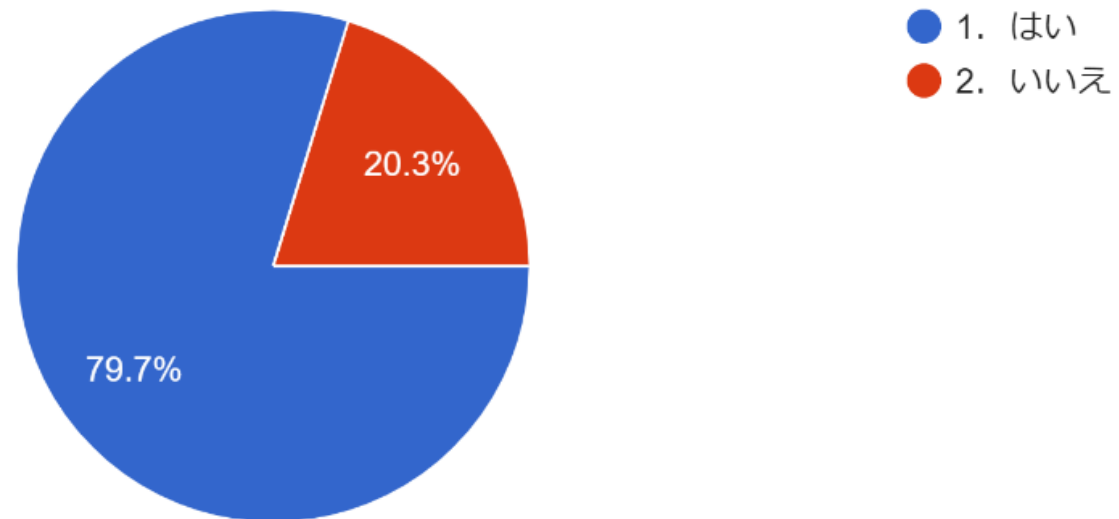
幅広い年齢に回答

非正規も含めて回答



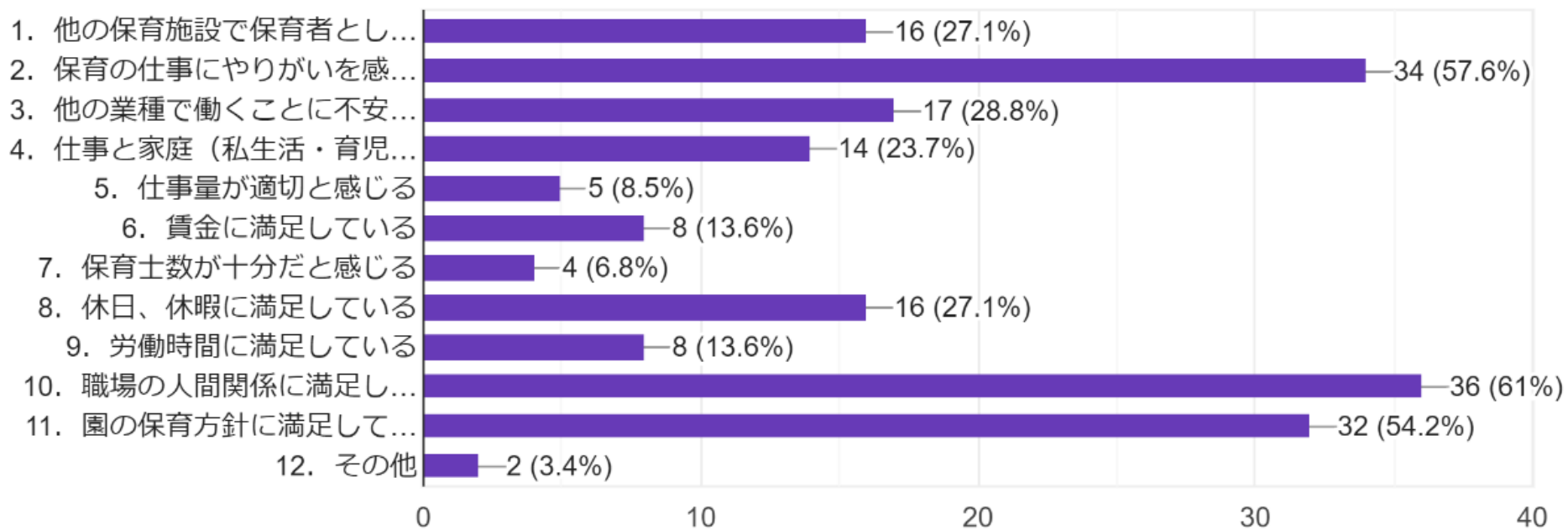
Q9. 現在お勤めの職場で、今後も働きたいと思いますか？

74 件の回答



## Q10. 現在お勤めの職場で今後も働きたい理由に該当するものすべて選択してください

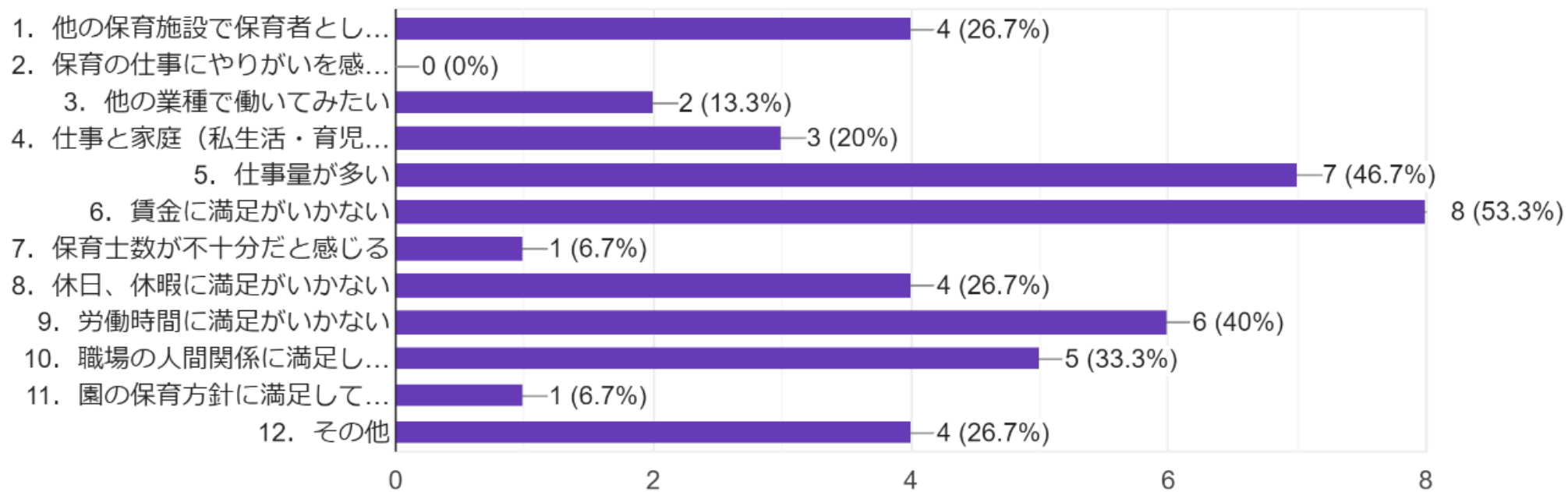
59 件の回答





### Q11. 現在お勤めの職場で今後も働きたくない理由に該当するものをすべて選択してください

15件の回答



20.3%が就業継続の意思がない

【働き続けたい理由】

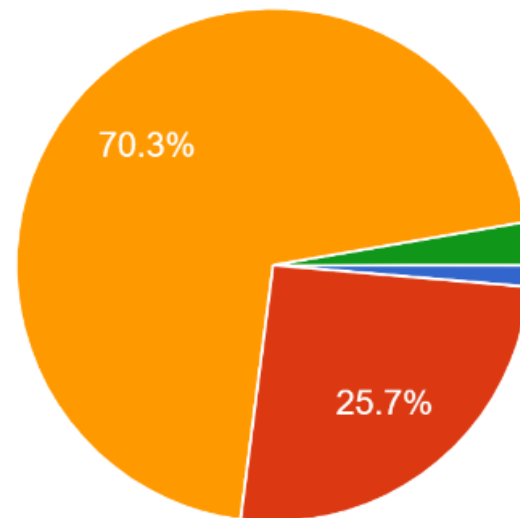
1. 人間関係に満足（61%）
2. 保育の仕事にやりがいを感じる（57.6%）
3. 園の方針に満足（54.2%）
4. 他の業種で働くことに不安を感じる（28.8%）

## 【働き続けたくない理由】

1. 賃金に満足がいかない  
(53.3%)
2. 仕事量が多い (46.7%)
3. 労働時間に満足していない  
(40%)
4. 職場の人間関係に満足していない (33.3%)

Q12. あなたは仕事と家庭（私生活・育児／介護等）の両立についてどのように考えていますか？

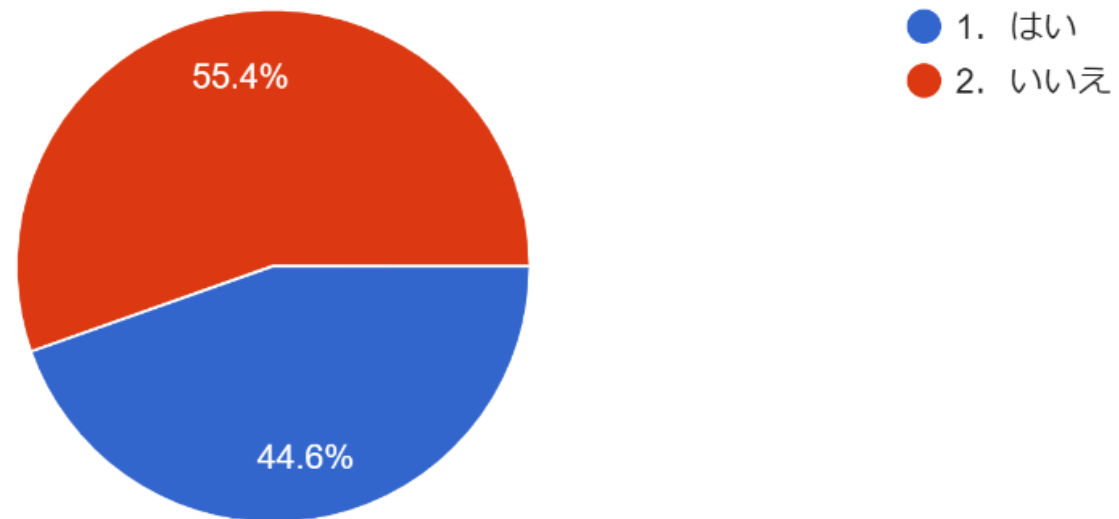
74 件の回答



- 1. 仕事を優先したい
- 2. 家庭（私生活・育児／介護等）を優先したい
- 3. 仕事と家庭（私生活・育児／介護等）の両立していきたい
- 4. わからない

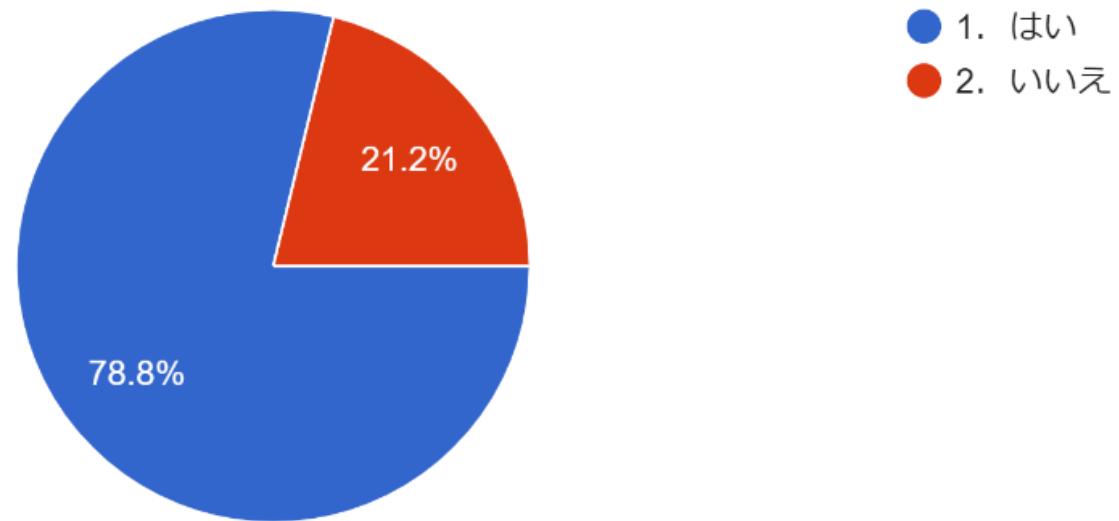
Q13. 今後、子どもをもうける希望はありますか

74 件の回答



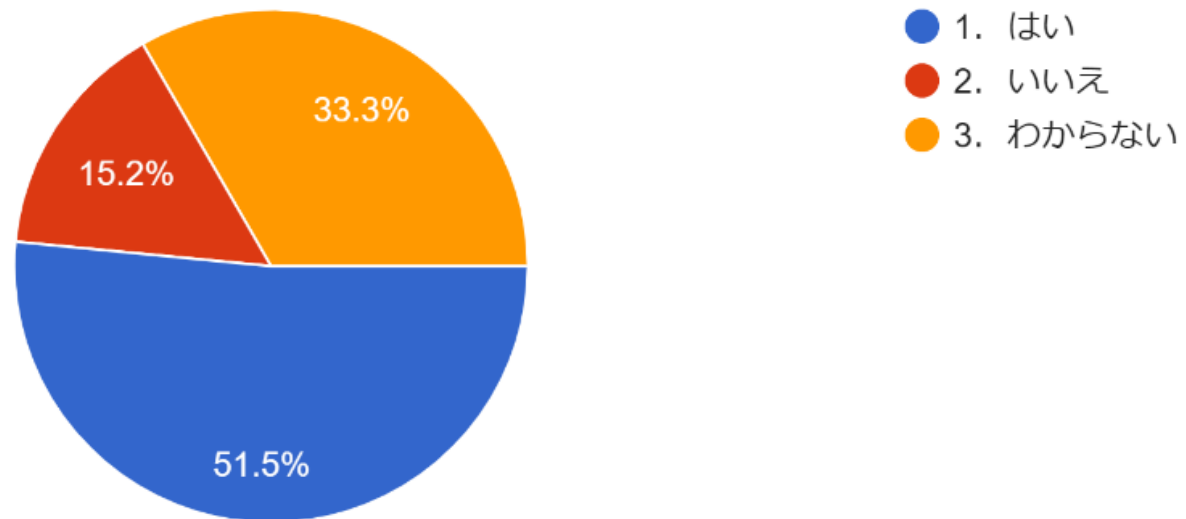
Q14. 将来、子育てと仕事を両立していくことに不安はありますか？

33 件の回答



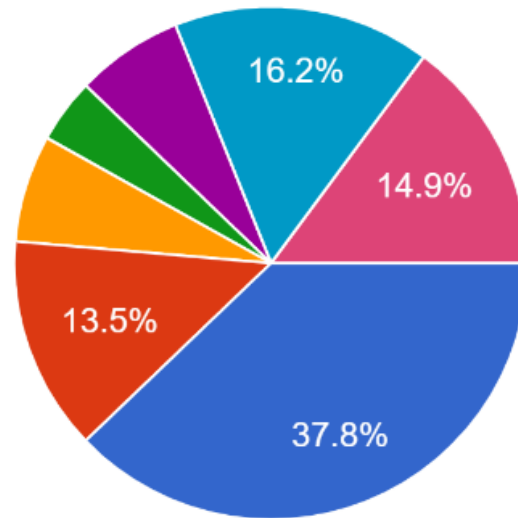
Q16. 今後もし、子どもを産んだ場合、仕事を継続する意思はありますか？

33 件の回答



# Q17. 結婚や出産後の仕事についてどのように考えていますか？

74 件の回答



- 1. 結婚や出産をしても保育士として正規職員で働きたい
- 2. 結婚や出産をしたら保育士として非正規雇用で働きたい
- 3. 結婚や出産をしたら異なる業種で働きたい
- 4. 結婚や出産をしたら仕事をやめたい
- 5. 今後、結婚や出産を希望しない、...
- 6. わからない
- 7. その他

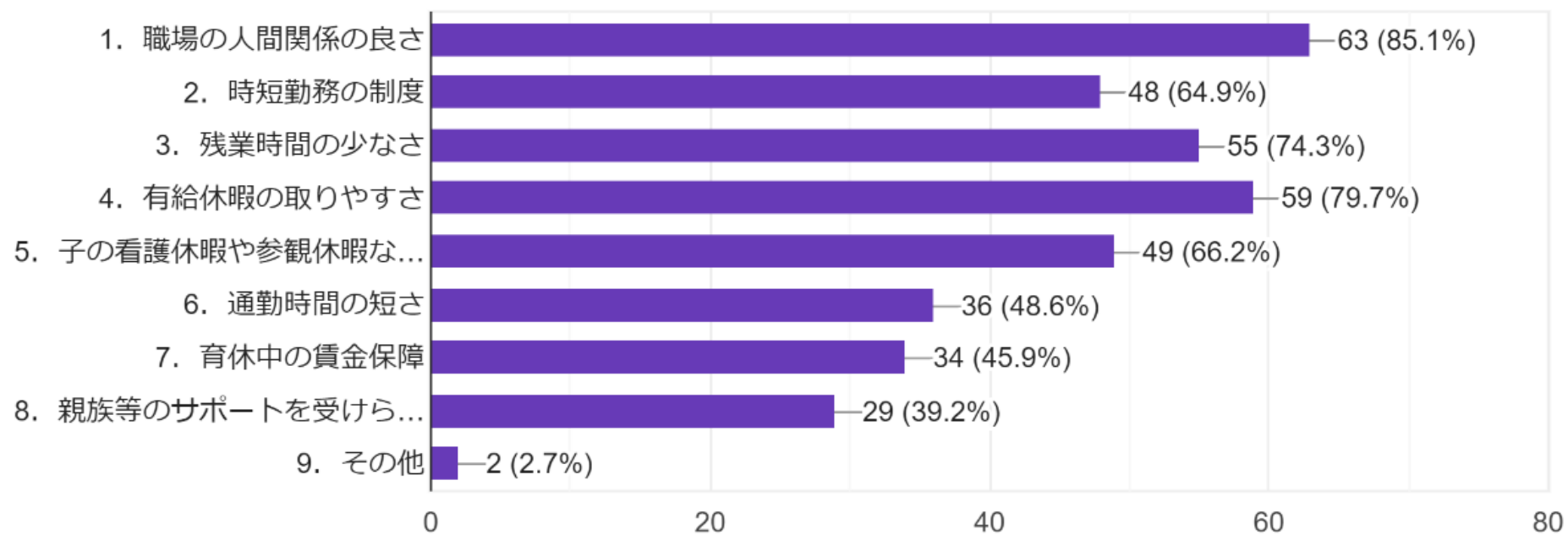


# ワークライフバランス

- ・ 仕事と家庭を両立していきたい (70.3%)
- ・ 将来子育てと仕事を両立していくことに不安を感じる (78.8%)
- ・ 子どもを産んだ場合
  - － 仕事を継続する意思がない (15.2%)
  - － わからない (33.3%)

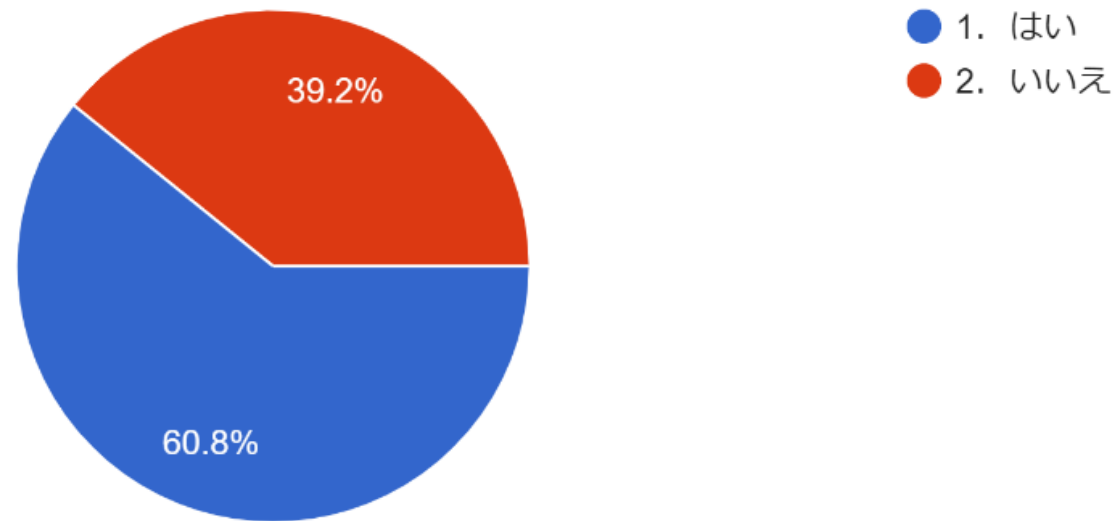
Q21. 仕事と子育ての両立のために、保育職場に...思うことに該当するものをすべて選択してください

74 件の回答



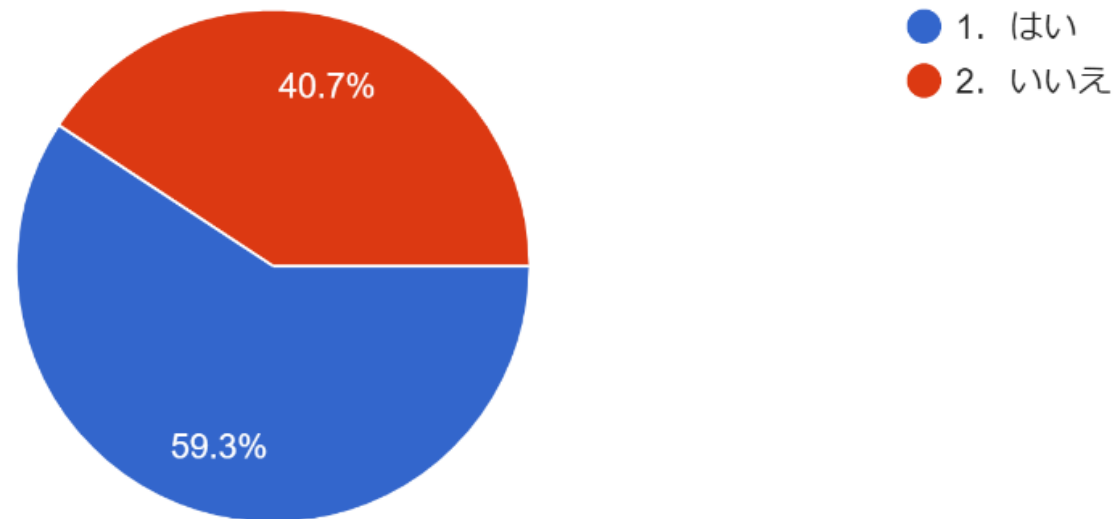
Q26. 現在働いている地域は、家族・親族等のサ...域や家族・親族等が近隣にお住まいなど) ですか？

74 件の回答



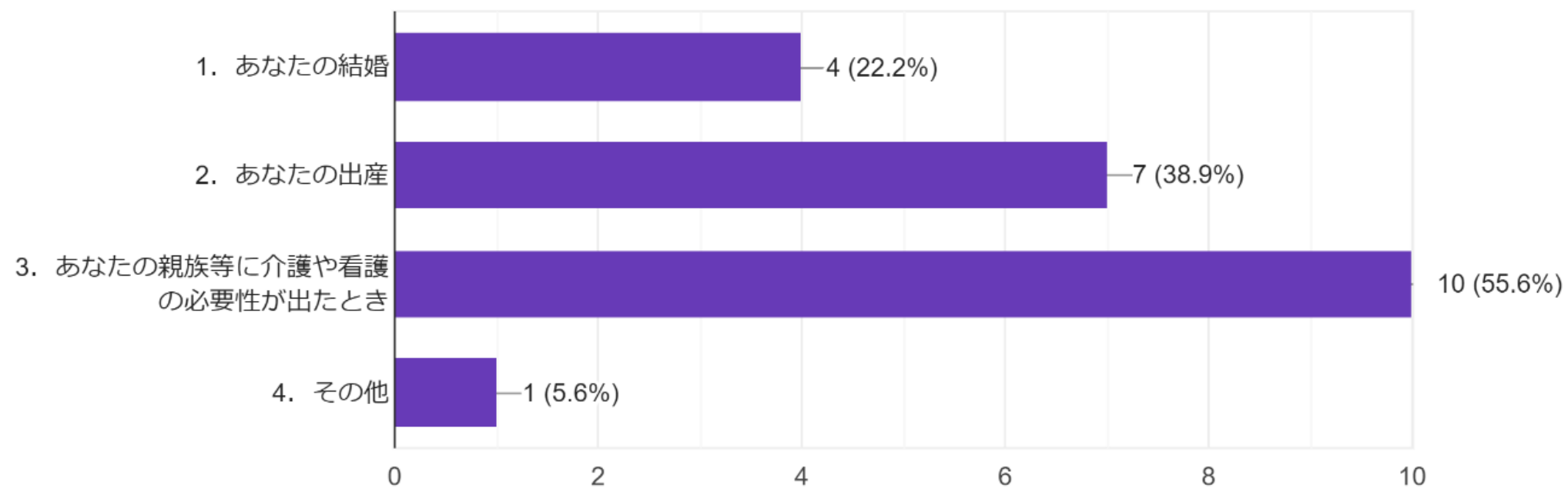
Q27. 将来的に家族・親族等のサポートが受けられる地域で働きたいと思いますか？

27 件の回答



Q28. どのようなタイミングで家族・親族等のサポートが受けられる地域に戻りたいと思いますか？

18 件の回答



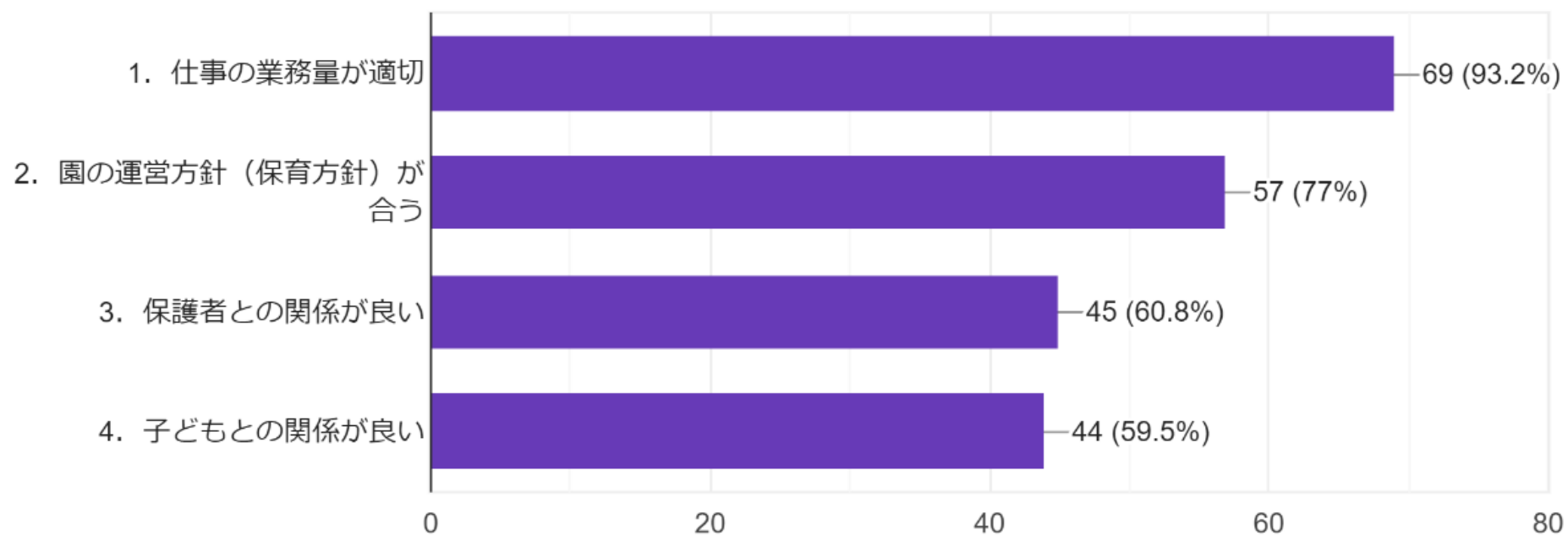
# 家族のサポート

- ・ 家族・親族等のサポートが受けられる地域で働きたい（59.3%）



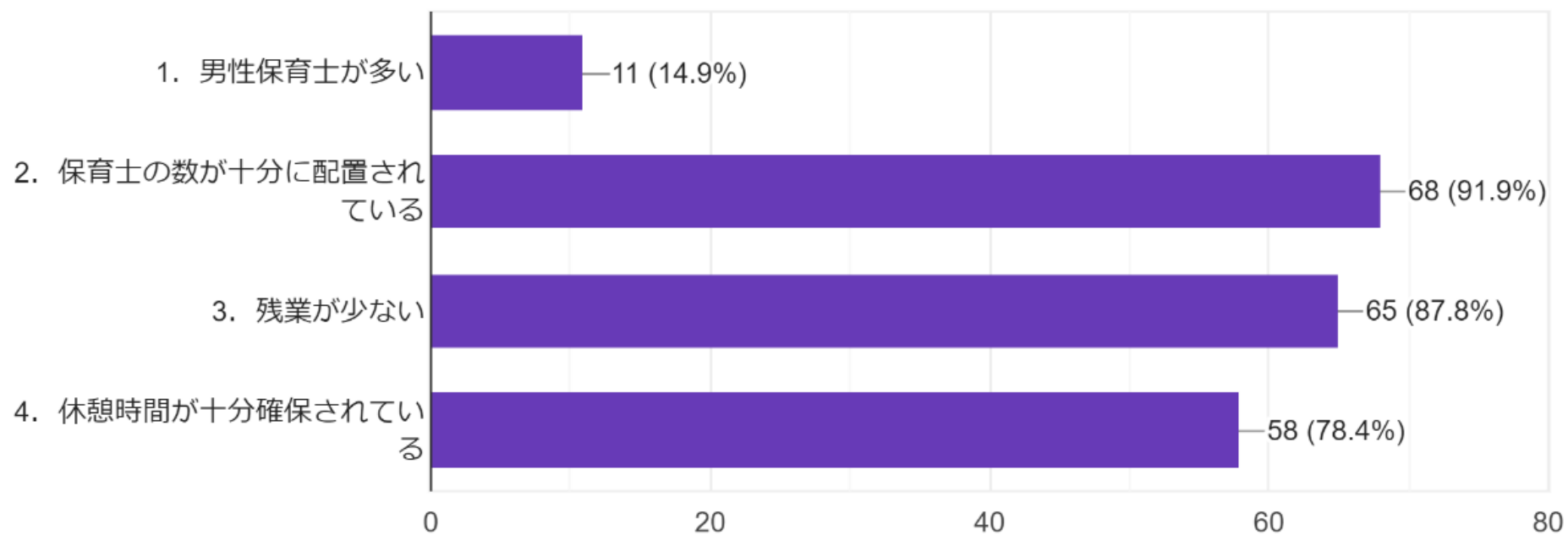
Q29. 保育者が働き続けられるための条件として...のをすべて選択してください（保育業務について）

74 件の回答



Q30. 保育者が働き続けられるための条件として...のをすべて選択してください（勤務体制について）

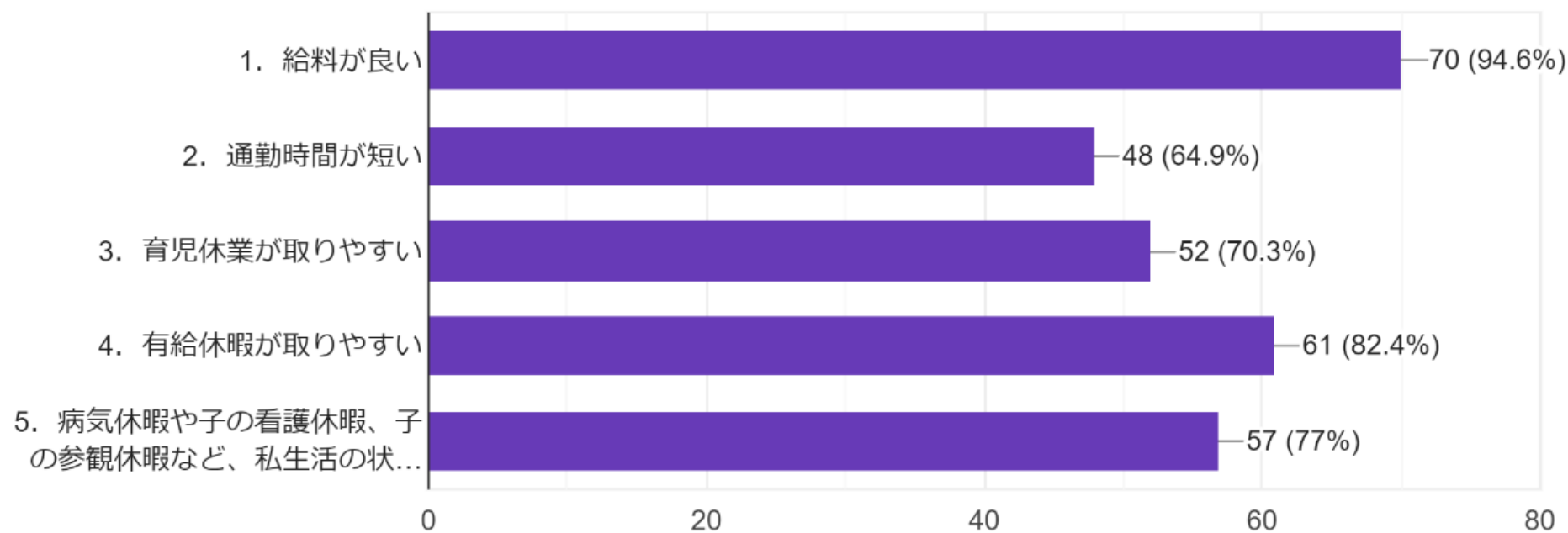
74 件の回答





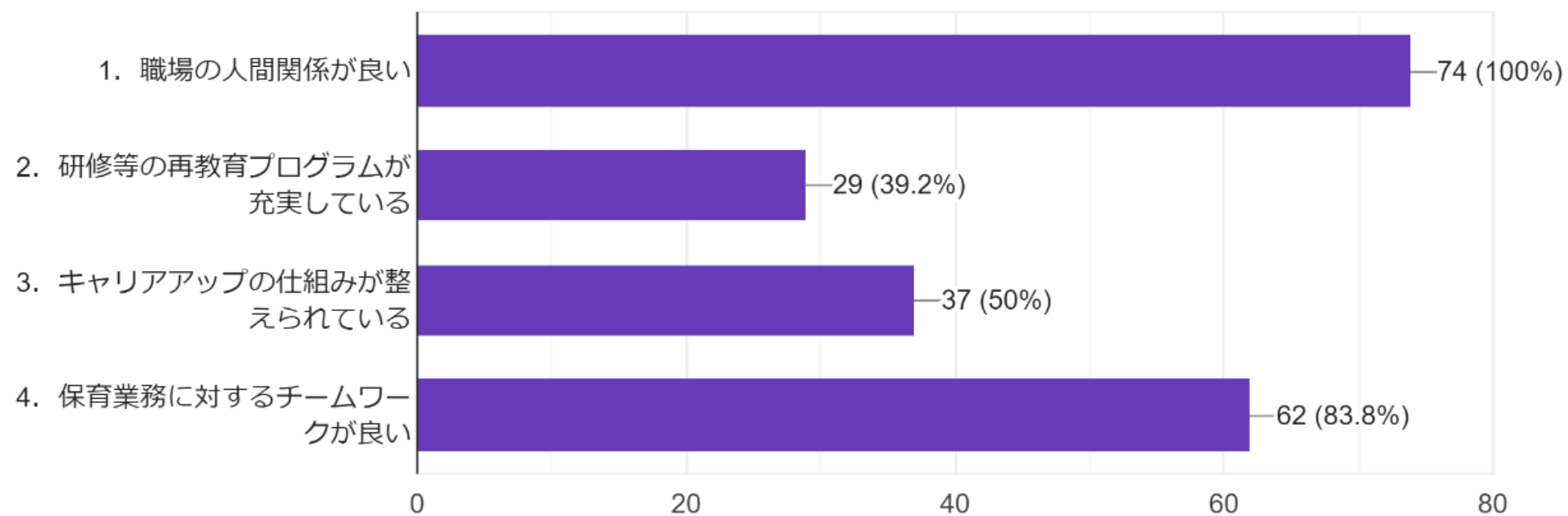
Q31. 保育者が働き続けられるための条件として...のをすべて選択してください（労働条件について）

74 件の回答



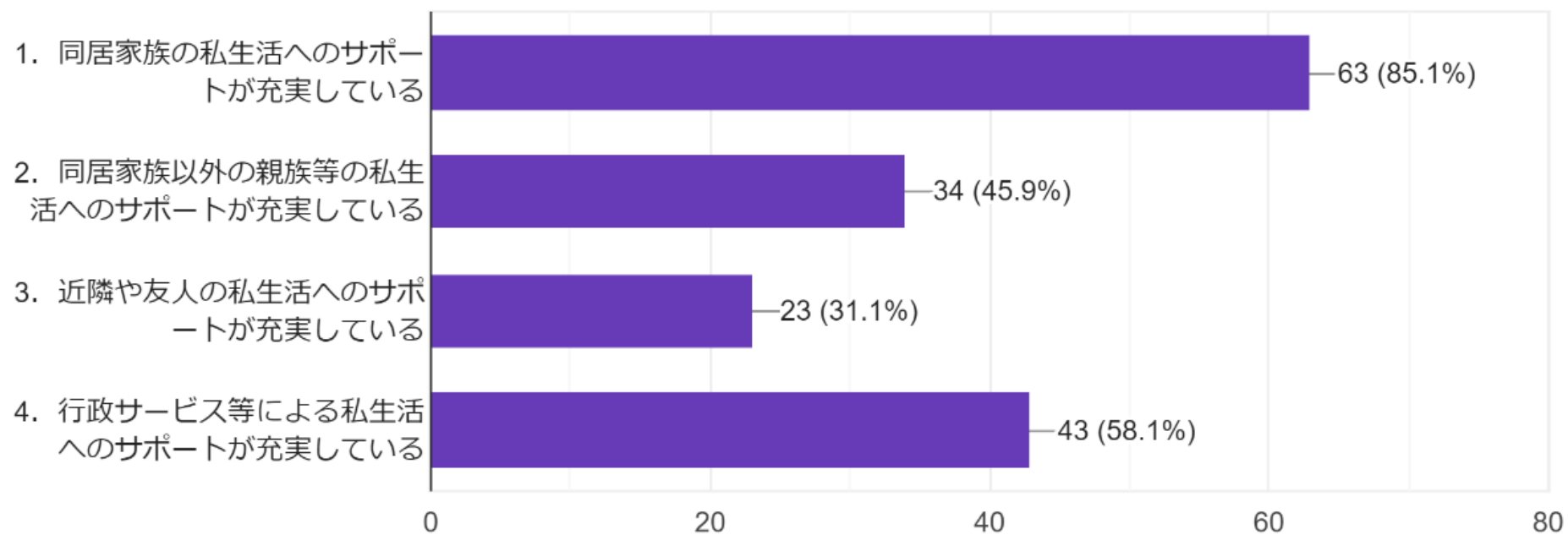
Q32. 保育者が働き続けられるための条件として...をすべて選択してください（職場の環境について）

74 件の回答



Q33. 保育者が働き続けられるための条件として...をすべて選択してください（家族や地域について）

74 件の回答



# 働き続けられるための条件

1. 職場の人間関係 (100%)
2. 給料が良い (94.6%)
3. 仕事量が適切 (93.2%)
4. 保育士の数が十分に配置されている (91.9%)
5. 残業が少ない (87.8%)
6. 同居家族の私生活へのサポートが充実している (85.1%)
7. 有給休暇が取りやすい (82.4%)
8. 保育業務に対するチームワークが良い (83.8%)

# 研究会およびプレ調査より①

仕事と家庭との両立（ワークライフバランス）を支えるための方策とはどのようなものか？

若い世代は、ある種の家族主義へ回帰しているのではないか。

「終身雇用制度＝将来の安定」という常識が崩れている社会の中で、若者が家族（生まれ育った地域）や、職業の多様性を求めることも否定できない。

「魅力ある保育職場づくり」をすすめることだけで、この流れが止められるのか疑問に感じる。

## 研究会およびプレ調査より②

高度経済成長期までは、「ライフデザイン＝キャリアデザイン」であったが、  
そうではなくなっている現在（人口減少社会、都市一極集中、国際競争力の低下、経済状況の（最）悪化）、  
どのようなライフデザインとキャリアパスを若い保育者に示していくべきか。

「経済的な安定＝生活（QOL）の安定」ではなくなっていることを肌感覚で感じている世代なのかもしれない…。

（価値観の再考あるいは転換が求められているのでは？）



本調査（1月実施予定）に向けて  
調査項目、内容へのご意見をいただ  
ければと思います。

